

Chor des Landvolks  
aus  
Die Jahreszeiten  
Joseph Haydn

春よ來れ

農夫の合唱

ハイドン作  
オラトリオ「四季」の内春の部

若狭萬次郎編曲  
犬童球溪作歌

7日  
230  
1  
800  
7日

NO. 529

ハイドン作「四季」の内、春の部  
村人の合唱  
春よ來れ

犬童  
球  
溪

嗚呼春よ!! 神の賜ふく  
樂しき春 山よ河よ!!  
嗚呼春よ!! 嗚呼 長き眠り醒せ  
長き眠り疾く目醒めよ 樂しき春!!  
嗚呼來れ春よ 急げ春よ!!  
嗚呼春よ!! 樂しき春よ!!  
來よ春よ!!  
嗚呼春よ!! 來よや 急げ春よ!!  
× × ×  
嗚呼春よ!! 神の賜ふく  
樂しきその春 汝を待てるよ花も鳥も!!  
疾く疾く來れ春よ 急げ春よ!!  
疾く疾く來れ春よ!!  
疾く 急げ春よ!!  
疾く 疾く



**B**

Komm, hol - der Lenz! — des Him - mels Ga - be, komm! — komm, hol - der  
 ア は - る よ た の - し き - は る コ ヨ は - る

Komm, hol - der Lenz, — o komm  
 コ ヨ は - る よ

Komm, hol - der Lenz,  
 コ ヨ は - る よ

Lenz, Komm, hol - der Lenz! — des Him - mels, des  
 ア は - る よ こ よ - や い

komm, hol - der Lenz hol - der Lenz! —  
 コ ヨ は - る よ は - る よ

Him - mels Ga - be, komm!  
 そ - げ は - る よ

*p dolce*

**C**

Komm, hol - der Lenz! — des Him - mels Ga - be, komm! — komm,  
 は - る よ か み の た - ま - ぶ — des Him - mels Ga - be,  
 des Him - mels Ga - be komm!  
 か み の た - ま - ぶ

komm!  
 aus uns - re Flu - ren sen - ke dich! O komm, hol - der Lenz, o komm und  
 た の - し き - そ の は - る い ま し を - ま て - る よ は

uns - re Flu - ren sen - ke dich! Komm, hol - der Lenz! o komm und wei - le län - ger,  
 し き - そ の は る ア い ま し を ま て - る よ は

wei - le län - ger nicht!  
 な - も と - り も

O komm, O komm, o komm, o komm und wei - le län - ger  
 ト ク ト ク ト ク ト ク き た - れ は - る

wei - le län - ger nicht! O komm,  
 な - も と - り も トク

und  
nicht, und, wei - le län - ger nicht! Ö komm komm, komm,  
よ い そ - じ は - る よ ト ク ト ク ト

た れ は る よ ー und wei - le,  
konn und wei - le län - ger, län - ger nicht, und wei - le län - ger  
ク ト ク - き た れ や ト ク ー い そ - じ は - る  
wei - le län - ger nicht, und wei - le län - ger  
た れ は る よ

nicht, Ö komm, komm, komm!  
よ

nicht,  
p

Gemischten Chor (混聲合唱)  
Chor des Landvolks  
Allegretto.

Sopr. 4  
Alt.  
Bab. 4  
Tenor.

Komm, hol - der Lenz! - des Him - mels Ga - be  
あ り ま せ ぬ 春 は 空 の 恵 みの 賜

Komm! aus ih - rem To - des - schlaf, aus ih - rem To - des - schlaf,  
あ り ま せ ぬ 死 の 眠 り から 甦 り ませ

Him - mels Ga - be komm! aus ih - rem To - des - schlaf, aus ih - rem To - des - schlaf,  
あ り ま せ ぬ 恵 みの 賜 から 甦 り ませ

Komm!  
あ

Schlaf - er - wek - ke die Na - tur!  
あ り ま せ ぬ 春 は 甦 り ませ

Schlaf  
あ

Komm!  
あ

Komm, hol - der Lenz! - er - wek - ke die Na - tur  
あ り ま せ ぬ 春 は 甦 り ませ

Lenz!  
あ

Komm, hol - der Lenz! - er - wek - ke die Na - tur  
あ り ま せ ぬ 春 は 甦 り ませ

Schlaf!  
あ

Schlaf!  
あ



石倉小三郎譯歌

シューベルト歌曲選集 各冊一〇〇

- 第一編 菩提樹、春の思ひ、琴ひく老翁、セレナード、我が家、野いばら、さすらい人、海邊に立ちて、分身、傳書局
- 第二編 何處へ、止まれ、小川に瀟す、誰にか問はん、君よさらば、さびしき、強き心、鐘車による、グレーチン、鱈、若き聖尼、
- 第三編 旅に、涙の雨、琴は空しく、緑の紐で、獵夫、嫉妬と誇、好きな色、嫌いな色、花は枯れて、粉挽きと小川、

瀧 廉太郎遺作曲

日本風の主題による 二つのピアノ獨奏曲 七〇

エルンスト・ブツテ作曲

荒城の月變奏曲 七〇

若狭萬次郎編

新最中等唱歌曲集 一三〇

新最同聲合唱曲集 一五〇

(定價金參拾錢)

513	鍛冶屋さんの唄	(單聲二部合唱曲)	グエルディ 原作	・20
514	天地開闢	(單聲三部合唱曲)	ハイドン 原作	・30
515	歌劇ローレレ	(原(混)聲三部合唱曲)	メンデルスゾーン 原作	・30
516	乙女のまじひ	(單聲三部合唱曲)	本居長世 原作	・30
517	乙女の歌	(女聲三部合唱曲)	モーツァルト 原作	・30
518	祝歌	(原(混)聲合唱曲)	ググナル 原作	・30
519	紡ぎ歌	(女聲三部合唱曲)	ググナル 原作	・30
520	たそがれ	(女聲三部合唱曲)	アブラ 原作	・20
521	春の雨	(女聲二部合唱曲)	津田耕吉 原作	・20
522	喜の歌	(原(混)聲合唱曲)	ググナル 原作	・30
523	科の木	(單聲三部合唱曲)	シューベルト 原作	・20
524	望郷の歌	(單聲三部合唱曲)	トーマス 原作	・20
525	蕨の夜合草	(獨唱曲及合唱曲)	メンデルスゾーン 原作	・30
526	歌劇アルゼステ	(獨唱及合唱曲)	ググナル 原作	・30
527	眠れ静かに	(獨唱及合唱曲)	シューマン 原作	・30
528	フリー(天女)の合唱	(女聲三部合唱)	シューマン 原作	・30
529	春よ来れ	(原(混)聲合唱曲)	ハイドン 原作	・30
530	美しきエレ	(女聲三部合唱曲)	ブルック 原作	・30
531	我等に勇士を興へ	(原(混)聲四部合唱曲)	シューマン 原作	・30
532	我等は戦場に趣かん	(原(混)聲四部合唱曲)	ヘンデル 原作	・30
533	見よ!! 勇士は歸る	(原(混)聲三部合唱曲)	ヘンデル 原作	・20
551	清秋の波	(單聲三部合唱曲)	ブラームス 原作	・15
552	秋の歌	(原(混)聲三部合唱曲)	メンデルスゾーン 原作	・15
553	秋の夜	(單聲二部合唱曲)	ベシグン 原作	・15
554	秋の別	(單聲二部合唱曲)	ベシグン 原作	・15
555	別	(單聲三部合唱曲)	ブルック 原作	・15
801	春の興	(原(混)聲三部合唱曲)	モーツァルト 原作	・50
802	春の歌	(原(混)聲三部合唱曲)	モーツァルト 原作	・50

昭和四年十二月一日印刷  
昭和四年十二月四日發行

編者 若狭萬次郎  
發行所 共益商社書店印刷部  
代表者 白井保男

發行所 東京市芝區松本町四十四番地  
會社 共益商社書店  
振替東京一五八〇番  
電話三田(45)四〇五七

解説

○ 古典樂派の騰舞、近世器樂の父と呼ばれる、フランツ・ヨーゼフ・ハイドン (Franz Joseph Haydn) は一七三二年四月一日、エニツェルライヒのロオラウに生れた。  
○ オラトリオの「天地創造」及び「四季」の二曲は彼の作品中其最も有名なるものである。彼はヘンデルの「メシアス(救世主)」の音楽に感服して遂に之を作出したつたのであると云ふ。  
○ オラトリオの黄金時代とも云ふべき十八世紀この方、數あるヘンデルの諸作品と相並んでハイドンのこのたつた二つのオラトリオは今なほ赫耀として樂壇に喧傳せられてゐる。  
○ 就中「四季」に於てはハイドンのオラトリオ藝術上に於ける新鮮味、換言すれば彼獨創の自然的描寫乃至人生々活の描寫といふことが萬遺憾なく發揮せられて居る。  
○ 彼は「創造」の成功に促されて一七九九年より一八〇〇年に亘り其全心血を此「四季」の作出に傾倒したのである。  
○ 本曲は一八〇一年四月廿四日、シニワルツェンベルクの宮廷に於て初演せられた。  
○ 歌詞は有名なトムソンの詩で、四季の風物をうたひ極めて田園的である。歌詞と音楽とが通俗的な爲に本曲の社會的効果は頗る大であつて方に「民衆オラトリオ」の觀がある。  
○ パツハの教會專用のオラトリオはヘンデルによつてその範圍を擴張し更にハイドンにいたつて社會化し民衆化したと云ふことなる。(エグス・マカベウス参照)  
○ 冬より春への道程を描出したる本曲の序曲終るや農夫の「シモン」は宣叙調によつて次の如きことを述べる。  
やよ!! 見よ!! 冬はや過ぎ行きぬ。はるけき北の雪の原へと。  
開けや!! 冬の雄たけびを。狂へる嵐の軍勢は指圖のままに進み去りぬ。  
見よ!! 眠々たる峯の岩間より、溢るゝ春流は雪解けの水。  
次に其娘「ハンネ」の獨唱。  
やよ!! 見よ!! 彼方の南より、そよと微風芳香に満ちて、  
春の使女、笑ひて來る。  
○ 之に續くのが村人の合唱で、「春よ來れ」即ち本合唱曲である。(歌詞参照)  
○ 原曲は前段、中段、後段の三部に分れてかなり長く六ヶ敷いものであるが、茲には其要所々々を抽出して高等女學校用程度と同聲四部合唱曲として編曲された。  
○ 因に、本合唱曲は昭和四年の春、東京音樂學校學友會春季大演奏會に於て初演せられた。